

2015年4月度定例理事会議事録 ー速報ー

2015年4月20日(月) 19時00分 スター貸会議室四谷第二会議室

出席理事：石井、増田、西谷、細田、中川、野村、菊池(誠)、池田、橋本(美)、橋本(春)、  
櫛本、村岡、坂、竹井、田井、生木、高松、篠崎、菊地(俊)、屋代、島田、  
高橋、檜垣、小倉(監事) 以上23名

委任状： 清水(村岡理事に委任)以上1通

欠席理事：宮田、鹿住(監事)

会社役員会：井口、草深、野口、木内 事務局：雪、篠本、松本 書記：坂倉

議長：中川理事(ハンデキャップ委員会)

出席理事22名(19時00分現在)委任状1通をもって4月度理事会は成立。

1. イベント委員会(菊地委員長)

- ・今年の開場記念祭のテーマは「青い色」に決まり、プレー及びパーティー時に青い物を身につけてもらう。例年通り、各委員会に当日手伝いをお願いする。
- ・来年度のAGE対抗戦はスキームを再検討する。
- ・浮世絵をテーマに文化講演会を4月18日に開催した。当日は満席だったが、もっと多くの人に聞いてほしい内容であった。

2. ジュニア育成委員会(橋本(美)委員長)

- ・開場記念祭当日のキッズプログラムの発表。
- ・ジュニアボランティアスタッフの募集と登録。安全性を重視し、子供を安心して預けられる環境作りを目指し、委員会は預ける側の視点に立って活動内容を検討する。ボランティアスタッフの協力は必須。
- ・ジュニア合宿の報告。時間枠を取ってコースに出るようにしたい。
- ・ファーストティプログラム参加を目指す。

3. 競技委員会(竹井委員長)

- ・月例競技の魅力向上を目指し、テイラーメイド(案)を協賛社として年間ランキングを算出。2015年6月月例から2016年の開場記念祭(5月月例終了時の上位16人によるPlayoffを当日実施)までの1年間で年間チャンピオンを決定。
- ・4月19日(日)理事長杯予選が滞りなく終了し、32名の本戦出場者が決まった。5月10日と17日は2マッチを行い、24日に36ホールマッチで決勝戦の予定。

4. ハンデキャップ委員会(中川委員長)

- ・クラブ HDCP の査定対象にレディース会競技を含めることにする。開始時期等の具体的事項は今後確認する。
- ・HDCP ボードと名札の整備を事務局にお願いしたい。

5. フェロウシップ委員会(生木委員長)

- ・メルマガ掲載記事として、何年か前にニュースレターに連載したプレイファストやマナー、各ホールの攻略法の特集記事の再掲載を広報委員会に提案した。
- ・3~5月の目土キャンペーンの確認。これに合わせ、目土袋の製作を検討する。以前販売した1本足のグリーンフォークの再販を希望する声がある。

- ・プレイファストリボンを発行。コンペ時は研修生が各カートで説明し、理事長杯ではキャディマスターで遅くなりそうな組をマークするなどの努力により、プレイファストが浸透してきた。理事長杯予選では前半9ホールに2時間40分、後半はもう少し早く上がることができており、ある程度の成果は上がったと考えられる。

6. クラン進捗状況報告(事務局 松本)

60 クランのほとんどが顔合わせを終えた。4月17日現在315名がクランフレンドに登録したが、1クランにつき30~40人のクランフレンド登録を目指しているため、今後も紹介活動をお願いしたい。4月3日にクランコンペを開催し、8月14日と10月14日にも予定している。→理事から毎月の開催を検討してはどうかとの意見があった。

7. 営業報告 (事務局 雪副支配人)

- ・3月の売上実績は2,405万円で計画比19万円のマイナス、前年比61万円のプラス、来場者数は2,473名で前年比206名増であった。4月の売上実績は(4月19日現在)1,561万円で前年比235万円プラス、来場者数は1,448名で前年比194名増であった。3月末当期累計の売上は16,379万円で計画比375万円のマイナス、前年比2,274万円のプラスを計上した。
- ・コジロー会員は3月に普通会员2名、家族会員1口2名、4月は19日現在普通会员2名の入会があり、3月末までの累計は普通会员69名・家族会員20口40名。
- ・平日組売りは、3月はメンバー、ゲスト・ビジター、インターネットサイト利用者(M・GV・N)139組551名(M34名、GV441名、N76名)、4月は(4月19日現在)63組246名(M24名、GV154名、N68名)であった。→ネットはいつまで続けるのかという質問に対し、井口取締役から来場者数との兼ね合いで、現状は大きな収入源であることから続けざるを得ないという回答があった。

8. 経営特別委員会(篠崎理事)

BWC 最後の問題解決に向けて: コジロー返済問題の割り勘精神による解決

BWC 存亡の危機を回避するため、メンバー有志がコジローに出資した11億円のうち未返済の5億円の返済期限が2015年12月に迫っている。クラブのコンセプトである割り勘の精神に則り、アクティブメンバー600人でこの負債を補い、将来のメンバーに負担を負わせない方法を取りたい。

- ・アクティブメンバーに貸付金を拠出願う。
- ・入会者の紹介などの方法で拠出しない方法の選択ができる。
- ・現在コジローに融資しているメンバーは、融資金を拠出金に振り替えることができる。
- ・支払方法は分割も可とする。
- ・貸付金の返済期限を明言する。金利を検討する。

経営特別委員会の説明を受け、質疑応答の後、上記につき5月理事会で詳細を報告すること、メンバーに対し説明会を開催し会員総会で総意を得ることを条件に理事会は割り勘精神による解決策を推進することを承認した。

次回理事会は5月18日(月)19時00分～ 場所:未定

議長はフェロシップ委員会(生木委員長)